

金沢大学がん進展制御研究所・韓国ソウル大学がん微小環境研究センター

ジョイントシンポジウムを開催

2018年5月28日

5月28日（月）、金沢大学医学部記念館（宝町キャンパス）において「金沢大学がん進展制御研究所・韓国ソウル大学がん微小環境研究センタージョイントシンポジウム」を開催しました。

シンポジウムでは、韓国側からセンター長の Young-Joon Surh 教授を含む8名が発表し、金沢大学がん進展制御研究所、新学術創成機構、NanoLSI など日本側から6名の研究者が発表しました。講演内容は、がんの分子生物学や細胞生物学、モデル開発などの基礎研究、核医学による診断学や治療法などの応用研究、さらに最新の創薬研究やナノレベルでの研究について、幅広くかつ最新の研究成果について紹介がありました。

シンポジウムには、研究所内外の教職員、大学院生等155名が参加し、各発表に対して活発な質疑応答や意見交換が行われ、将来の国際共同研究へとつながる機会となりました。



開会挨拶 平尾 敦 先生



Dong Ho Lee 先生



鈴木 健之 先生



June-Key Chung 先生



柴田 幹大 先生



Jung Weon Lee 先生



Kyu-Won Kim 先生



松本 邦夫 先生



Hyewon Youn 先生



平田 英周 先生



Jun Won Park 先生



Byung Woo Han 先生



Marc Diederich 先生



小川 数馬 先生



閉会挨拶 Young-Joon Surh 先生



集合写真

シンポジウムの様子

